

2026年3月19日

報道関係者各位

株式会社オプティム  
(東証プライム市場、コード:3694)**国内初<sup>※1</sup>、オンプレミス/クラウド・ハイブリッド AI アーキテクチャ採用、  
病院向け生成 AI サービス「OPTiM AI ホスピタル」 ver.3.0 提供開始  
～ハイブリッド AI 構成によるセキュアと高性能を両立、  
1クリック要約や対話型「カルテ AI アシスタント」を搭載～**

AI・IoT・ビッグデータプラットフォームのマーケットリーダーである株式会社オプティム(以下 オプティム)は病院向け生成 AI サービス「OPTiM AI ホスピタル」をバージョン 3.0 へとアップデートし、本日より提供開始いたします。

本アップデートでは、最新のクラウド AI エンジンを活用した「カルテ AI アシスタント」および「カルテ AI サマリー」を新たに搭載しました。従来のオンプレミス環境による強固なセキュリティと、クラウドによる高度な処理能力のハイブリッド環境を提供します。医療現場の喫緊の課題である文書作成負担の低減を図り、各病院の準備状況に合わせた「段階的な医療 DX」の実現を支援します。

病院向け生成 AI サービス  OPTiM AI ホスピタル v3.0 提供開始**ハイブリッド AI 構成による 1クリック要約、  
対話型「カルテ AI アシスタント」を搭載**

## 医師の活用シーン

- 紹介状返書の作成
- 各種診断書・証明書の作成
- 診察前の情報収集
- 退院サマリーの作成
- 転院・転科サマリーの作成
- カンファレンス用資料の作成

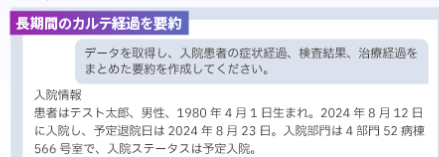
## カルテ AI アシスタント



## 看護師の活用シーン

- 看護記録のドラフト作成
- 医師への SBAR<sup>®</sup>形式の報告作成
- 看護計画の立案・修正案の作成
- 看護サマリーの作成
- 転院・転科サマリーの作成
- 定期的な経過把握

## カルテ AI サマリー



※状況 (S)、背景 (B)、評価 (A)、提言 (R) の各項目で構成される標準的な報告形式。情報の構造化を補助し、医療現場における円滑な連携の支援を目的としています。

**■アップデートの背景:医療機関に寄り添う「段階的な DX」の提案**

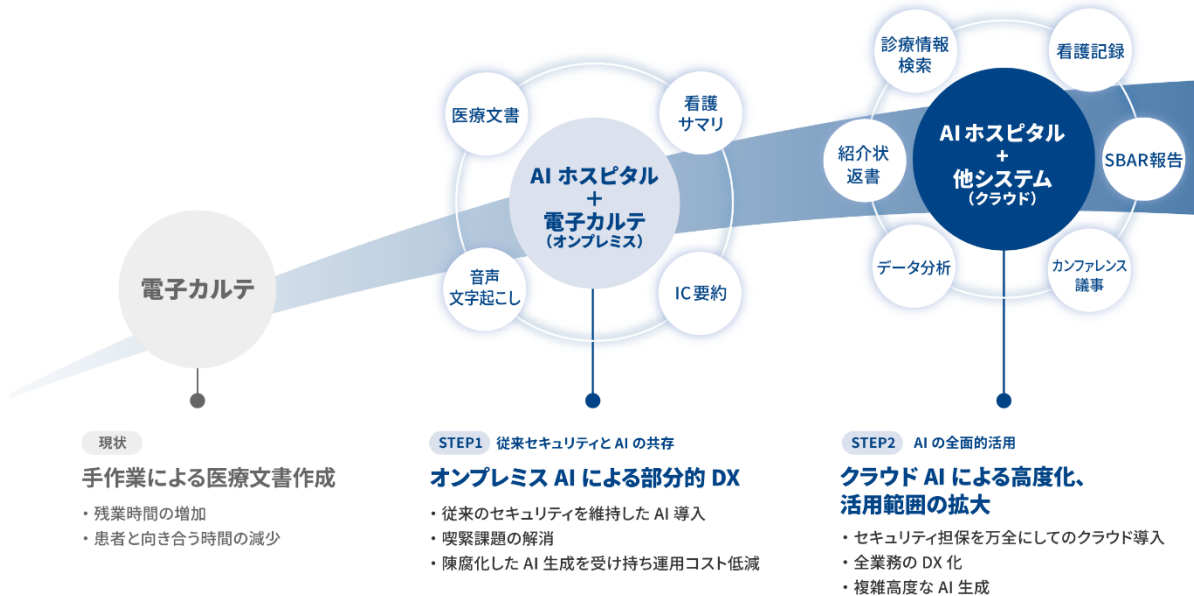
医療現場における AI 活用は、情報セキュリティへの懸念から、オンプレミス環境での運用が主流でした。しかし、より複雑で高度な生成 AI の恩恵を享受するためには、クラウド AI の活用が有効な手段の一つとなっています。「OPTiM AI ホスピタル ver.3.0」では、医療機関の準備状況に合わせた「段階的な DX 導入」をコンセプトに掲げています。

**1. オンプレミス AI による部分的 DX (Step 1)**

従来のセキュリティレベルを維持したままオンプレミス AI を導入。運用コストの低減を図りつつ、まずは目の前の業務課題の解消を目指します。

## 2. クラウド AI による高度化・活用範囲の拡大(Step 2)

院外アクセスのルール整備等、病院側の準備に合わせ、最新のクラウド AI を連携。複雑な生成タスクや幅広い業務の DX 化を支援します。



## ■ 新機能の特長

### 1. <カルテ AI アシスタント>: 電子カルテとの対話による業務支援

電子カルテ内に蓄積されたデータに基づき、AI との対話を通じて必要な情報の抽出や、医療文書の下書き作成を支援する機能です。従来、手作業で行っていた情報探索や文書作成工程の効率化に寄与し、医療従事者の事務的負担の軽減を目指します。また、情報の整理を AI が補助することで、人為的なミス のリスク低減をサポートし、医療の質および精度の向上を支援します。

#### 電子カルテから患者番号を連携

#### データを抽出

例：検査結果一覧を表示

検査結果を表示、最新 3 件

患者番号 000001 の検査結果最新 3 件を表示します。

**【第 1 件】**

- 実施日時：2025-01-04 12:00
- 検査区分：生化 (血清)
- 採取日時：2025-01-04 08:30:00 (※実施日と同日に修正)
- 検査結果：
  - CRP：13.88 mg/dL (高値 H)
  - WBC：11.8 × 10<sup>3</sup>/μL (高値 H)
  - RBC：3.09 × 10<sup>6</sup>/μL (低値 L)
  - Hb：8.3 g/dL (低値 L)
  - PLT：704 × 10<sup>3</sup>/μL (高値 H)
  - NE：77.5% (高値 H)

**【第 2 件】**

- 実施日時：2025-01-01 12:00
- 検査区分：生化 (血清)
- 採取日時：2025-01-01 09:15:00 (※実施日と同日に修正)

#### 集計や分析を指示

例：血中 CRP 値の推移と基準値判定

全検査の CRP を時系列で列挙。0.30mg/dL を超える場合に基準値列に「X」、以下の場合は「○」を記載。末尾に統計サマリーを表示。

患者番号 000001 の検査結果における CRP の時系列一覧 (抜粋)

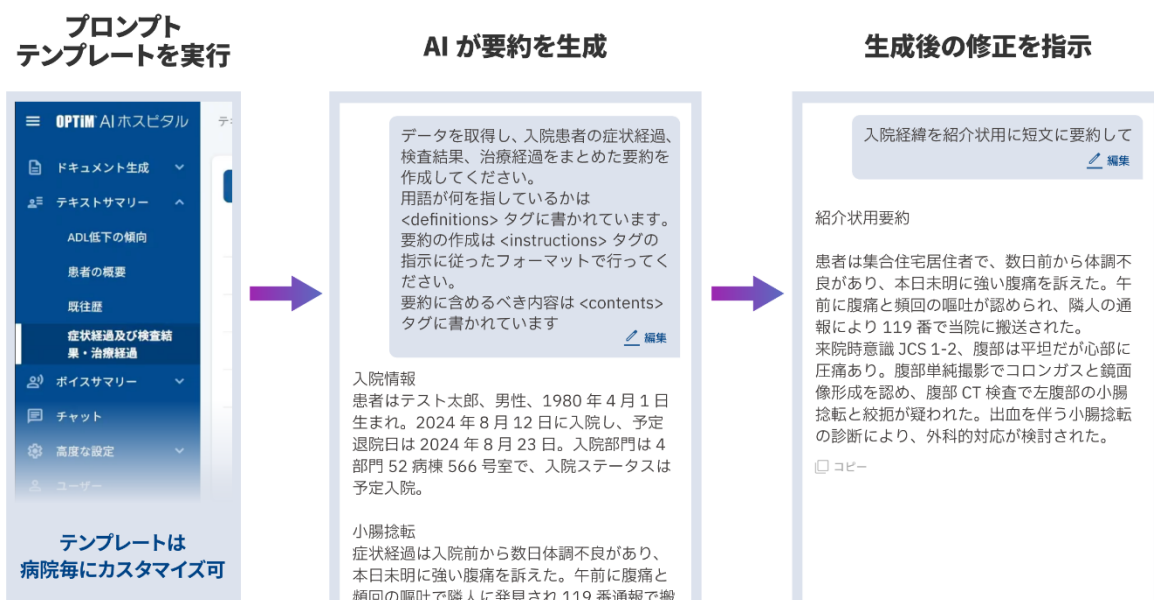
実施日時	採取日時	CRP 値 (mg/dL)	判定
2024-12-15	2024-12-15	0.22	○
2024-12-28	2024-12-28	2.72	X
2025-01-01	2025-01-01	(項目なし)	-
2025-01-04	2025-01-04	13.88	X

## サマリー

- CRP 記載ありの件数：54 件
- 基準値以下 (≤0.30 mg/dL)：8 件
  - 直近の該当：2024-12-15、2024-11-12... 他
- 基準超過 (>0.30 mg/dL)：46 件
  - 直近の該当：2025-01-04、2024-12-28... 他
- 基準超過率：85.2%

## 2. <カルテ AI サマリー>:1 クリックでの自動要約と微調整

蓄積された膨大な電子カルテ情報を、1 クリックで要約し、下書きを作成する機能です。要約後の微調整もチャット形式で直感的に行えるため、複雑なプロンプト(指示文)を考案する手間を抑え、利用者の習熟度に依存しない効率的な AI 活用を支援します。作成される文書品質の均質化を図るとともに、医師による最終確認および修正業務の負担軽減を目指します。



### ■新機能の具体的な活用方法

医師の活用	看護師の活用
<ul style="list-style-type: none"> <li>紹介状返書の作成</li> <li>各種診断書・証明書の作成</li> <li>診察前の情報収集</li> <li>退院サマリーの作成</li> <li>転院・転科サマリーの作成</li> <li>カンファレンス用資料の作成</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>看護記録のドラフト作成</li> <li>医師への SBAR<sup>※2</sup> 形式の報告作成</li> <li>看護計画の立案・修正案の作成</li> <li>看護サマリーの作成</li> <li>転院・転科サマリーの作成</li> <li>定期的な経過把握</li> </ul>

### ■医療機密を保護する「堅牢なセキュリティ」

クラウド AI の利用にあたり、医療機関が最も懸念するセキュリティ面において、厳正な管理体制のもと「OPTiM AI ホスピタル」を提供します。

- 3 省 2 ガイドライン<sup>※3</sup> 準拠**  
 MDS(製造業者による医療情報セキュリティ開示書)および SDS(サービス事業者による医療情報セキュリティ開示書)を提供します。
- 国内リージョンの採用**  
 データセンターは日本国内のみを使用します。
- データの非保持・学習禁止**  
 入力データは AI の学習に利用(オプトアウト)されず、クラウド上にも保持されません。
- 厳格なアクセス制御**  
 院外からのアクセス制限、ID 管理、利用上限設定機能を搭載しています。
- 監査体制**  
 有事の際に、詳細な利用状況ログを提供します。

## ■「OPTiM AI ホスピタル」の概要

「OPTiM AI ホスピタル」は、電子カルテシステムと連携し、医療現場の記録業務を劇的に効率化する病院特化型 AI サービスです。AI が医師や看護師の文書作成・情報抽出を代行・補助することで、「医療従事者の働き方改革」と「患者様と向き合う時間の創出」を両立。病院経営の効率化と医療の質の向上を同時に実現します。

## ◆導入による期待効果

「OPTiM AI ホスピタル」は、以下のような効果を通じて、医療従事者と患者の双方にメリットをもたらします。

- 医師の負担軽減: 診療情報提供書や主治医意見書などの複雑な文書作成を AI が下書きし、事務作業時間を大幅に短縮。時間外労働の削減に貢献し、医師の健康確保と離職防止を支援します。
- ケア品質の向上: 看護サマリーの自動生成により記録業務の負担を軽減。ベッドサイドで患者様に寄り添う時間を増やし、看護の質と患者満足度を高めます。
- 安全な AI 活用: 病院のポリシーに合わせ「オンプレミス」と「クラウド」を選択可能。機密性の高い患者情報を守りつつ、最新の生成 AI 技術を安全に臨床現場へ導入できます。

## ◆提供機能一覧(オンプレミス AI/クラウド AI 選択可能)

- 看護サマリー作成  
看護記録を解析し、転院・退院時に必要なサマリーの下書きを生成
- 診療情報提供書作成  
カルテ内の診療経過から、紹介先への提供書の下書きを生成
- 主治医意見書作成  
診療・リハビリ記録から、介護保険申請等に必要な意見書の下書きを生成
- ボイスレコーダーAI 要約  
音声要約プロンプトを DIY・テンプレート化し、全ての音声記録業務を効率化
- IC AI 要約(β版)  
インフォームドコンセント(IC)を録音・テキスト化し、重要事項を自動抽出
- カルテ作成支援(β版)  
診療音声の文字起こしと SOAP 形式カルテの下書き作成を自動作成

## ◆提供機能一覧(クラウド AI)

- カルテ AI アシスタント  
AI と対話しながら、過去の膨大なカルテから必要な情報を瞬時に抽出・整理
- カルテ AI サマリー  
1 クリックで長期間のカルテ経過を要約。修正もチャット形式で直感的に実行可能

## ■「OPTiM AI ホスピタル」の詳細について

「OPTiM AI ホスピタル」の詳細な機能や提供条件については、以下のリンクからご確認いただけます。さらに詳細なご質問や導入に関するご相談は、お気軽にお問い合わせください。

<https://www.optim.co.jp/optim-ai-hospital/>

- ※1 2026年3月19日時点、オプティム調べ。国内で公表された病院向け生成 AI サービスのうち、オンプレミス LLM とクラウド LLM を機能別に使い分ける独自エンジンを搭載し提供開始するものとして初。
- ※2 状況(S)、背景(B)、評価(A)、提言(R)の各項目で構成される標準的な報告形式。情報の構造化を補助し、医療現場における円滑な連携の支援を目的としています。
- ※3 厚生労働省、経済産業省、総務省が策定した医療情報の安全管理に関する指針の総称。医療機関向けの「医療情報システムの安全管理に関するガイドライン」と、サービス事業者向けの「医療情報を取り扱う情報システム・サービスの提供事業者における安全管理ガイドライン」で構成されます。

## 【オプティムの目指す、オプティマル事業とは】

～Optimal【形】最適な、最善の、最も有利な～

急速なインターネット普及に伴い、これまでネットを利用したことのないユーザーがネットを利用する機会が増えており、このユーザー層にとって現状のネットは必ずしも使いやすいものではありません。このような状況にあって、ネットを空気のように快適で、息をするように無意識に使えるサービス・インフラに変えていく。オプティマル事業とは、そのためのオプティム独自の最適化技術によるサービス事業の総称です。

製品情報: <https://www.optim.co.jp/services>

Facebook ページ: <https://www.facebook.com/optimjpn>

X ページ: [https://x.com/optim\\_jpn](https://x.com/optim_jpn)

## 【株式会社オプティムについて】

商号: 株式会社オプティム

上場市場: 東京証券取引所プライム市場

証券コード: 3694

URL: <https://www.optim.co.jp/>

OPTiM TOKYO: 東京都港区海岸 1 丁目 2 番 20 号 汐留ビルディング 18 階  
(東京本社)

OPTiM SAGA: 佐賀県佐賀市本庄町 1 オプティム・ヘッドクォータービル  
(佐賀本店)

OPTiM KOBE: 兵庫県神戸市中央区小野柄通 7 丁目 1 番 1 号 日本生命三宮駅前ビル 11 階

代表者: 菅谷 俊二

菅谷 俊二

主要株主: NTT 東日本株式会社

富士フイルムホールディングス株式会社

設立: 2000 年 6 月

資本金: 445 百万円

主要取引先: 株式会社 NTTドコモ、NTTドコモビジネス株式会社、NTT 西日本株式会社、NTT 東日本株式会社、株式会社大塚商会、キヤノンマーケティングジャパン株式会社、KDDI 株式会社、株式会社小松製作所、ソフトバンク株式会社、パナソニックソリューションテクノロジー株式会社、富士フイルムビジネスイノベーション株式会社、リコージャパン株式会社など(五十音順)

事業内容: ライセンス販売・保守サポートサービス(オプティマル)事業

(IoT プラットフォームサービス、リモートマネジメントサービス、サポートサービス、その他サービス)

## 【Copyright・商標】

※ 記載の会社名および製品名は、各社の登録商標および商標です。

※ 本プレスリリースに記載された情報は、発表日現在のものです。商品・サービスの料金、サービス内容・仕様、お問い合わせ先などの情報は予告なしに変更されることがありますので、あらかじめご了承ください。

【本件に関する報道機関からのお問い合わせ先】

株式会社オプティム 広報担当

TEL: 050-1746-3938 FAX: 03-6435-8560

E-Mail : [press@optim.co.jp](mailto:press@optim.co.jp)

OPTiM AI ホスピタル : <https://www.optim.co.jp/optim-ai-hospital/>